

食品中に含まれる放射性物質に関する リスクコミュニケーションについて

令和元年11月1日(金)
内閣府 食品安全委員会
事務局 資料

1. 具体的な取り組み状況 (令和元年10月31日時点)

● 関係府省と連携した親子参加型イベント・セミナー等の開催

令和元年度は全国3か所(京都、東京、宮城)の親子参加型イベントに出展

「知ろう！ 考えよう！ 親子で学ぶ、食品中の放射性物質」

その中で小学生とその保護者に対し、食品中の放射性物質に関するセミナー等を実施

● 関係府省と連携して令和元年度に実施した意見交換会

令和元年度は全国4か所で開催(宮城で10/21、福岡、京都、東京は11月予定)

「食品中の放射性物質を巡る震災からの歩みーこれまでを知り、明日の消費行動を考えるー」

● 地方公共団体との共催により学校教育関係者(栄養教諭等)を対象にした意見交換会を開催

食品のリスクは量の問題であること、基準値を下回る場合は心配する必要がないことを説明

(宮崎市、松山市、那覇市、大阪府、和歌山市、名古屋市、山口県)

2. 今後の取組について

○引き続き1. の取組を継続するとともに、食中毒、食品添加物等をテーマに、自治体や関係団体が要請する随時の講師派遣の際にも食品の安全の確保の基本的な考え方(食品のリスクは量の問題であり、基準値を下回る場合は心配する必要がないこと)を必ず説明